|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| １  目標・内容  の取扱い | 理科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられているか。  ○　自然の事物・現象についての理解や観察、実験などに関する基本的な技能について  ○　観察、実験などを行い、問題解決の力を養うことについて  ○　自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度について |
| ２  人 権 の  取 扱 い | 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。  ○　人権への配慮について  ○　ユニバーサルデザインに関する配慮について  ○　自然環境への配慮や防災について  児童の安全について適切に取り扱われているか。  ○　安全の確保や事故防止について |
| ３  内容の程度 | 児童の発達段階を考慮した内容になっているか。  ○　文章の記述や分量について  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について |
| ４  組織・配列 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されているか。  ○　単元配列について  ○　単元構成について  ○　ページの構成（本文・写真・挿絵・図・表などの配置）について |
| ５  創意工夫 | 理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫され  ているか。  ○　観察・実験を通した問題解決の活動について  ○　日常生活や社会との関連について  ○　ものづくりの活動について |
| ６  補充的な  学　習・  発展的な  学　習． | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されているか。  ○　資料やコラムなど |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| １  目標・内容  の取扱い | 理科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられているか。  ○　自然の事物・現象についての理解や観察、実験などに関する基本的な技能について  ○　観察、実験などを行い、問題解決の力を養うことについて  ○　自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　自然の事物・現象から気づいたことや疑問に思ったことから問題をつくり、予想を立て、実験や観察をすることを通して、自然の事物・現象についての理解や基本的な技能について、身に付けられる内容が取りあげられている。  ○　問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「理科の学び方」で示している。  ○　自然の事物・現象について追究する中で、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を育むための適切な内容が取りあげられている。 |
| 大日本 | ○　自然の事物・現象から気づいたことを整理し、問題をつくり、予想を立て、実験や観察をすることを通して、自然の事物・現象についての理解や基本的な技能について、身に付けられる内容が取りあげられている。  ○　問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「理科の学び方」で示している。  ○　自然の事物・現象について追究する中で、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を育むための適切な内容が取りあげられている。 |
| 学　図 | ○　自然の事物・現象を比べて調べたいことを見つけ、予想を立て、実験や観察をすることを通して、自然の事物・現象についての理解や基本的な技能について、身に付けられる内容が取りあげられている。  ○　問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「科学の芽を育てよう」で示している。  ○　自然の事物・現象について追究する中で、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を育むための適切な内容が取りあげられている。 |
| 教　出 | ○　自然との関わりから疑問を持ち、話し合って調べていくことを決め、予想を立て、実験や観察をすることを通して、自然の事物・現象についての理解や基本的な技能について、身に付けられる内容が取りあげられている。  ○　問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「学習の進め方」で示している。  ○　自然の事物・現象について追究する中で、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を育むための適切な内容が取りあげられている。 |
| 信　教 | ○　自然とふれあい、疑問を大切にしながら、問題をみつけ、予想を立て、実験や観察をすることを通して、自然の事物・現象についての理解や基本的な技能について、身に付けられる内容が取りあげられている。  ○　問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「理科の学習の進め方」で示している。  ○　自然の事物・現象について追究する中で、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を育むための適切な内容が取りあげられている。 |
| 啓林館 | ○　自然の「不思議」を見つけ、話し合ったことから問題をつくり、予想を立て、実験や観察をすることを通して、自然の事物・現象についての理解や基本的な技能について、身に付けられる内容が取りあげられている。  ○　問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「自然の不思議を、とき明かそう！」で示している。  ○　自然の事物・現象について追究する中で、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を育むための適切な内容が取りあげられている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ２  人 権 の  取 扱 い | 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。  ○　人権への配慮について  ○　ユニバーサルデザインに関する配慮について  ○　自然環境への配慮や防災について  児童の安全について適切に取り扱われているか。  ○　安全の確保や事故防止について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。  ○　自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、６年の学習の中で林業を営む人の話を取り扱い、他教科との関連で環境保全について考えられるようにしていたり、マークで環境保全に向けた行動を示したりしている。  ○　児童の安全の確保や事故防止について、「きけんマーク」と赤字の活字を活用し、危険が回避できるよう配慮されている。また、巻末の「理科室の使い方」で、理科室での活動の基本的な注意点が示されている。 |
| 大日本 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。  ○　自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、５年の巻末付録に「災害に備えよう」ブックをつけ、実用的な防災行動につながるよう取りあげたり、「ＥＳＤ」「かんきょう」「ぼうさい」などのマークを使って関連や行動を示したりしている。  ○　児童の安全の確保や事故防止について、「注意マーク」と赤字の活字を活用し、危険が回避できるよう配慮されている。また、巻末の「わたしたちの理科室」で理科室での活動の配慮事項がまとめられ、実験に関するきまりが示されている。 |
| 学　図 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。  ○　自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、３年の「ソーラークッカー作ろう」などで防災へのつながりを「ぼうさい」マークで示したり、別のマークで環境保全に向けた行動を示したりしている。  ○　児童の安全の確保や事故防止について、「注意マーク」と赤字の活字を活用し、観察・実験における危険が回避できるよう配慮されている。巻末の「理科室の使い方」で、実験に関するきまりや、地震の時の対応方法などが示されている。 |
| 教　出 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。  ○　自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、６年巻末資料「環境ミニずかん」で、地球環境の保全に関する複数のコラムが掲載されている。  ○　児童の安全の確保や事故防止について、「注意」「危険」マークと赤字の活字を活用し、危険が回避できるよう配慮されている。また、裏表紙の「理科の安全の手引き」で安全に係る基本事項が示されている。 |
| 信　教 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。  ○　自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、６年生の「電気の利用」や「人と環境」で省資源や環境配慮の視点を示している。  ○　児童の安全の確保や事故防止について、「注意」マークと注意事項を赤囲みするなどし、危険を回避し安全に観察や実験ができるよう配慮されている。 |
| 啓林館 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。  ○　自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、４～６年では特設小単元「くらしページ」を設け、系統的に防災について学習できるようにしたり、マークで環境保全に向けた行動を示したりしている。  ○　児童の安全の確保や事故防止について、「注意」マークに加え、「やけど」マークなど具体的に注意すべき行動について示し、危険が回避できるよう配慮されている。また、巻末の「資料室」では、器具の使い方などが示されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ３  内容の程度 | 児童の発達段階を考慮した内容になっているか。  ○　文章の記述や分量について  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。また、重要語句については、本文上で太字にし、巻末の「学んだことをふり返ろう！」でも取りあげられている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 |
| 大日本 | ○　児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。また、重要語句については、本文上で太字にし、巻末の「まとめ」ページでも取りあげられている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 |
| 学　図 | ○　児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。また、重要語句については、本文上で太字にし、同ページの本文外に「大事な言葉」として取りあげられている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 |
| 教　出 | ○　児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。また、重要語句については、本文上で太字にし、巻末の「○年で学んだこと」でも取りあげられている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 |
| 信　教 | ○　児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。また、重要語句については、本文上に太字で示されている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 |
| 啓林館 | ○　児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。また、重要語句については、本文上で太字にし、単元末の「まとめノート」のページでも取りあげられている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ４  組織・配列 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されているか。  ○　単元配列について  ○　単元構成について  ○　ページの構成（本文・写真・挿絵・図・表などの配置）について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　年間を通して、各内容を学習できるよう配列されている。巻頭のページでは、内容ごとに単元が示され、単元の系統性が一覧で確認できる。  ○　「問題をつかむ」「調べる」「まとめる」を進め方の基本とした単元構成となっている。また、単元末の「たしかめよう」で、学習した内容を振り返ることができるよう取り扱われている。さらに、他教科との関連について「学んだことを使おう」で示されている。  ○　課題提示やまとめ以外、主に本文はページの左に、写真・イラストなどは中央から右に配置されている。ページ左側には、問題解決学習の過程がわかるように見出しやマークが付けられている。 |
| 大日本 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　年間を通して、各内容を学習できるよう配列されている。巻頭の目次では、内容に応じて単元番号が色分けされ、単元の系統性が一覧で確認できる。  ○　「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」を進め方の基本とした単元構成となっている。また、単元末の「確かめよう」で、学習した内容を振り返ることができるよう取り扱われている。さらに、他教科との関連について「○○で学んだこと」で示されている。  ○　本文、写真など、順番に配置されている。ページ上部には、問題解決学習の過程がわかるように見出しやマークが付けられている。 |
| 学　図 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　年間を通して、各内容を学習できるよう配列されている。巻頭の「○年生で学ぶこと」では、内容ごとに単元が明示され、単元の系統性が一覧で確認できる。  ○　「みつけよう」「調べよう」「まとめよう」を進め方の基本とした単元構成となっている。また、単元末の「まとめてみよう」で、学習した内容を振り返ることができるよう取り扱われている。  ○　本文、写真など、順番に配置されている。ページ左側と下部には、問題解決学習の過程がわかるように見出しやマークが付けられている。 |
| 教　出 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　年間を通して、各内容を学習できるよう配列されている。巻頭の目次では、内容に応じて単元番号が色分けされ、単元の系統性が一覧で確認できる。  ○　「問題をみつける」「考えをつくる」「考えを確かめる」「表現する」を進め方の基本とした単元構成となっている。また、単元末の「確かめ」で、学習した内容を振り返ることができるよう取り扱われている。さらに、算数科との関連について、「算数とのつながり」で示されている。  ○　本文、写真など、順番に配置されている。ページ左側と下部には、問題解決学習の過程がわかるように見出しやマークが付けられている。 |
| 信　教 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　年間を通して、各内容を学習できるよう配列されている。巻頭の「１年間の学習」では、内容ごとに単元が明示され、単元の系統性が一覧で確認できる。  ○　「見つける」「予想する」「確かめる」「まとめる」を進め方の基本とした単元構成となっている。  ○　本文、写真など、順番に配置されている。 |
| 啓林館 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　年間を通して、各内容を学習できるよう配列されている。巻頭の目次では、内容に応じて単元番号が色分けされ、単元の系統性が一覧で確認できる。  ○　「見つける」「調べる」「ふり返る」を進め方の基本とした単元構成となっている。また、単元末の「まとめノート」で、学習した内容を振り返ることができるよう取り扱われている。さらに、他教科との関連について「キャラクター」の吹き出しで示されている。  ○　主に本文はページの左に、写真・イラストなどは中央から右に配置されている。ページ左側には、問題解決学習の過程がわかるように見出しやマークが付けられている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ５  創意工夫 | 理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているか。  ○　観察・実験を通した問題解決の活動について  ○　日常生活や社会との関連について  ○　ものづくりの活動について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | 理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　「問題をつかむ」「調べる」「まとめる」の問題解決の活動の中で、働かせたい学び方や見方・考え方について「理科のミカタ」でヒントを示している。  ○　日常生活や社会との関連について、「理科のひろば」や「学びを生かして深めよう」で、働く人の話や生活の場面と関連付けて考えることができる。  ○　複数の単元で学習を生かしたものづくりが設定されている。例えば、５年の「電流がうみ出す力」では、電磁石を利用した空き缶拾い機が紹介されている。 |
| 大日本 | 理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」の問題解決の活動の中で、働かせたい学び方や見方・考え方についてキャラクターの吹き出しでヒントを示している。  ○　日常生活や社会との関連について、マークをつけた箇所の内容と、仕事や生活の場面と学習がつながっていることに気づかせるようにしている。  ○　「作ってみよう」などでは、学習を生かしたものづくりが設定されている。例えば、５年の「ふりこの動き」に関連して、メトロノーム作りが紹介されている。 |
| 学　図 | 理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　「みつけよう」「調べよう」「まとめよう」の問題解決の活動の中で、働かせたい学び方や見方・考え方についてキャラクターの吹き出しでヒントを示している。  ○　日常生活や社会との関連について、「しりょう」や「くらしに生きる」で、学習と生活の場面をつなげて考えることができるようにしている。  ○　「作ってみよう」「やってみよう」などでは学習を生かしたものづくりが設定されている。例えば、５年の「電流のはたらき」では、コイルモーター作りが紹介されている。 |
| 教　出 | 理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　「問題を見つける」「考えをつくる」「考えを確かめる」「表現する」の問題解決の活動の中で、働かせたい学び方や見方・考え方についてキャラクターの吹き出しでヒントを示している。  ○　日常生活や社会との関連について、「科学のまど」や巻末の特設コラム「広がる科学の世界」で、最先端の科学技術などを取り上げ、理科の学びと社会とのつながりについて気づかせるようにしている。  ○　「チャレンジ」などで、学習を生かしたものづくりが設定されている。例えば、５年の「電流が生み出す力」では、電磁石を利用した電池チェッカー作りが紹介されている。 |
| 信　教 | 理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　問題解決の活動の中で、働かせたい学び方や見方・考え方についてキャラクターの吹き出しでヒントを示している。  ○　日常生活や社会との関連について、地域の特色ある自然や身近な事物・現象を取りあげることで考えるようにしている。「しりょう」では学習したことと関連し自然の事物・現象や科学史などについて取りあげている。  ○　様々な場面で学習を生かしたものづくりが設定されている。例えば、５年の「ふりこの運動」では、ふりこの動きを利用したおもちゃやメトロノーム作りが紹介されている。 |
| 啓林館 | 理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　「見つける」「調べる」「ふり返る」の問題解決の活動の中で、働かせたい学び方や見方・考え方についてキャラクターの吹き出しでヒントを示している。  ○　日常生活や社会との関連について、「理科の広場」や「つなげよう」で、学習してきたことと関連する日常の話題や理科と関連する業界で活躍する人などを取りあげている。  ○　「ものづくり広場」などでは、学習を生かしたものづくりが設定されている。例えば、５年の「電流と電磁石」に関連して、電磁石を利用したモーター作りが紹介されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ６  補充的な  学　習・  発展的な  学　習． | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されているか。  ○　資料やコラムなど |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　巻末の「学んだことをふり返ろう」では、学習した内容を振り返ることができる。また、「学びを生かして深めよう」では、学んだことを生かして日常生活の事象などについて考えることができる。さらに、プログラミングを体験する場面を設定している。  なお、「インターネット」マークがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 大日本 | ○　巻末の「まとめ」では、学習した内容を振り返ることができる。また、「学んだことを生かそう」や「りかのたまてばこ」では、その単元で習得した知識と身近な生活との関わりを考えることができる。さらに、プログラミングを体験する場面を設定している。  　なお、「たのしい理科ウェブ」マークがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 学　図 | ○　巻末の「○年生で学んだこと」では、学習した内容を振り返ることができる。また、高学年の「はってん」のマークがついた「資料」では、学習したことをさらに深めて考えることができる。さらに、プログラミングを体験する場面を設定している。  　なお、ＱＲコードがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 教　出 | ○　巻末の「○年で学んだこと」では、学習した内容を振り返ることができる。また、「学びを広げよう」や「しりょう」では、学習した知識を身近な現象にあてはめて考えることができる。さらに、プログラミングを体験する場面を設定している。  　なお、「まなびリンク」があるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 信　教 | ○　単元内にある「まとめよう」では、学習した内容を振り返ることができる。また、「しらべてみよう」では、学習した内容を使って身近な事物・現象について調べることができる。さらに、プログラミングを体験する場面を設定している。  なお、「インターネットで調べよう」があるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 啓林館 | ○　巻末の「○年の理科をふり返ろう」では、学習した内容を振り返ることができる。また、「活用しよう」では、学習したことをさらに深めて考えることができる。さらに、巻末の付録を用いて、プログラミング的思考についての学習を設定している。  　　なお、ＱＲコードがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |